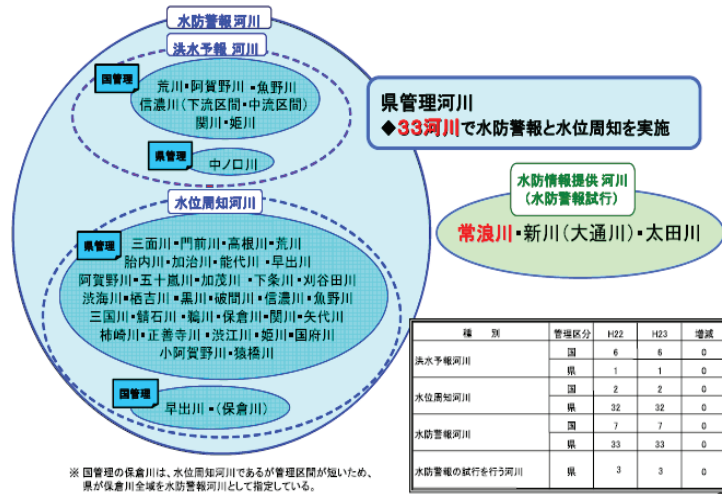


# 平成16年豪雨水害後の取り組み（新潟県）

水防法改正及び近年の災害被害を受けてのおもな取り組み

- 水防警報河川や洪水予報河川等の指定、  
浸水想定区域図の作成・公表、ハザードマップ作成への支援等
- 河川防災情報の提供（新潟県河川防災情報システム）
- 水防に関するシステム整備（水防警報迅速化システム）

水防警報河川（洪水予報河川及び水位周知河川）の拡充



浸水想定区域図及び洪水ハザードマップの作成促進



**新潟県 NIIGATA PREFECTURE 新潟県河川防災情報システム**

**【観測情報】**

- 水位情報：水位高の観測情報を表示します。
- 雨量情報：雨量高の観測情報を表示します。
- ダム情報：ダム高の観測情報を表示します。
- 気象情報：気象情報を表示します。

**【リンク】**

- 総合トップメニュー：総合トップメニューへ戻ります。
- 川の防災情報(国土交通省)：川の防災情報(国土交通省)へ移動します。
- 洪水ハザードマップと浸水想定区域図(河川管理課)：洪水ハザードマップと浸水想定区域図(河川管理課)へ移動します。

**【ヘルプ】**

- 用語の解説：用語の解説を表示します。
- ご利用について：ご利用について注意事項等を表示します。

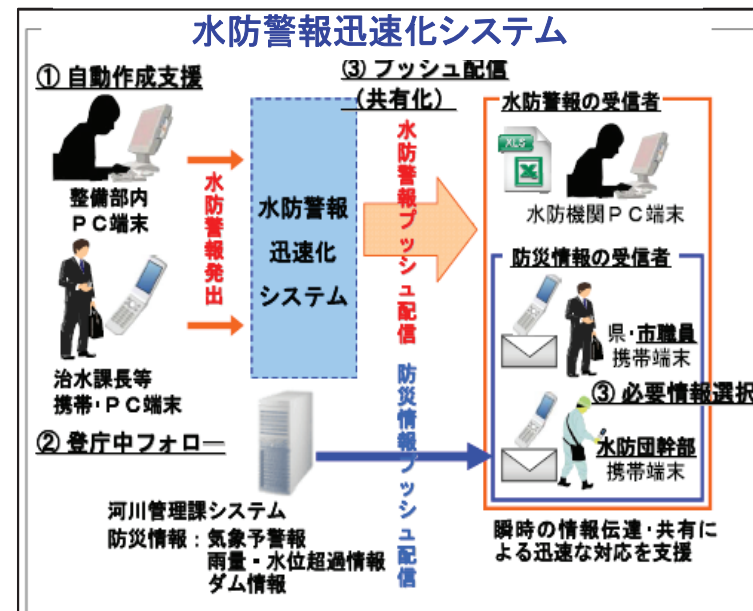
●本システムのデータは新潟県土木部、並びに国土交通省・気象庁で観測している水位・雨量・ダムの情報を提供しています。  
ここで提供している情報は、必ずしも正確な(参考)であり、水防の警報発令等を意味するものではありません。

●本システムで提供される情報は、システムから自動的に送られてくるデータで、観測後直ぐにお知らせする目的で作られています。  
そのため、観測機器の故障等による異常値がそのまま表示されてしまう可能性がありますのでご注意ください。

●本システムで表示される地図の作成に当たっては、国土管理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(行政界・海岸線)、及び数値地図50メッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平17経使 第61号)

★ご案内★  
この水位・雨量等の情報は、携帯電話からも以下のURLにてご覧いただけます。  
[http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen\\_m/](http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen_m/)

★ご意見・ご要望はコチラ★  
新潟県土木部河川管理課 tel:025-280-5414  
e-mail: ne1080050@pref.niigata.lg.jp



出典：新潟県資料

# 平成16年豪雨水害後の取り組み（市・町）

- 平成16年以降、各自治体とも防災体制の拡充、住民への情報提供ツールの強化などに取り組んでいる。
- H16年7月豪雨水害や中越地震で被災した自治体は、被災経験を活かした詳細なマニュアル等を作成するなど特に防災体制の強化が図られており、今回の洪水においても効果が見られる。

## ○各自治体の主な取り組み

### 【防災体制の拡充】

- 地域防災計画の見直し
- マニュアル等の作成  
ex.災害対応マニュアル  
災害対策本部設置・運営、避難所マニュアル など
- 避難情報発表基準の明確化
- 組織体制の拡充  
ex.危機管理防災本部、危機管理監の設置など

### 【住民への情報提供ツールの強化】

- 携帯メール配信システムの導入（登録制）  
※7自治体中、6自治体で導入
- エリアメールの導入  
※7自治体全てで導入（うち、洪水後導入が4自治体）
- 防災行政無線の整備  
※7自治体中、4自治体で整備
- コミュニティFMを活用した避難準備情報等の発信  
※7自治体中、4自治体で活用

### 【住民への事前周知情報】

- ハザードマップの作成・配布
- 住民向けガイドブックの作成・配布  
ex. 豪雨災害対応ガイドブック作成・配布  
住民避難ガイドブックの作成・配布 など

### 【その他】

- 要援護者対策の強化  
ex.市バスを活用した避難支援  
防災ファミリーサポート制度 など

## ○H16年時と比較して今回の対応はどうだったか。（被災経験のある自治体）

- ・H16年時はなかったマニュアルが今回はあったので、やるべきことがわかっていて、落ち着いた対応ができた。
- ・H16年時より、防災体制が充実したため、情報伝達等スムーズに行えたと思う。
- ・H16水害の経験から、行政担当者は自身の役割を把握し、今回の出水時の対応がスムーズに運べた。

# 平成16年豪雨水害後の取り組み(三条市:避難情報)

## 逃げどきマップ



- 浸水の中の避難は危険
- 自宅にとどまるか、早めの避難か、住まいの地域と家屋形態から「逃げどき」を判断
  - ・ 自宅の建物形態
  - ・ 浸水時の水深
  - ・ 浸水の前か後か
  - ・ 垂直避難か、水平避難か

## まるごとまちごとハザードマップ

- 常日頃からの洪水への意識向上。
- 安全かつ速やかな避難行動につなげる。



電柱に想定浸水深を表示



## エリアメール (携帯電話一斉送信サービス)

- 避難準備情報、避難勧告、避難指示等の緊急性の高い情報を配信



NTTドコモと協定を締結

## 緊急告知FMラジオ

- 防災情報を迅速かつ的確に住民に伝達



「燕三条FM」緊急割込放送システムを活用

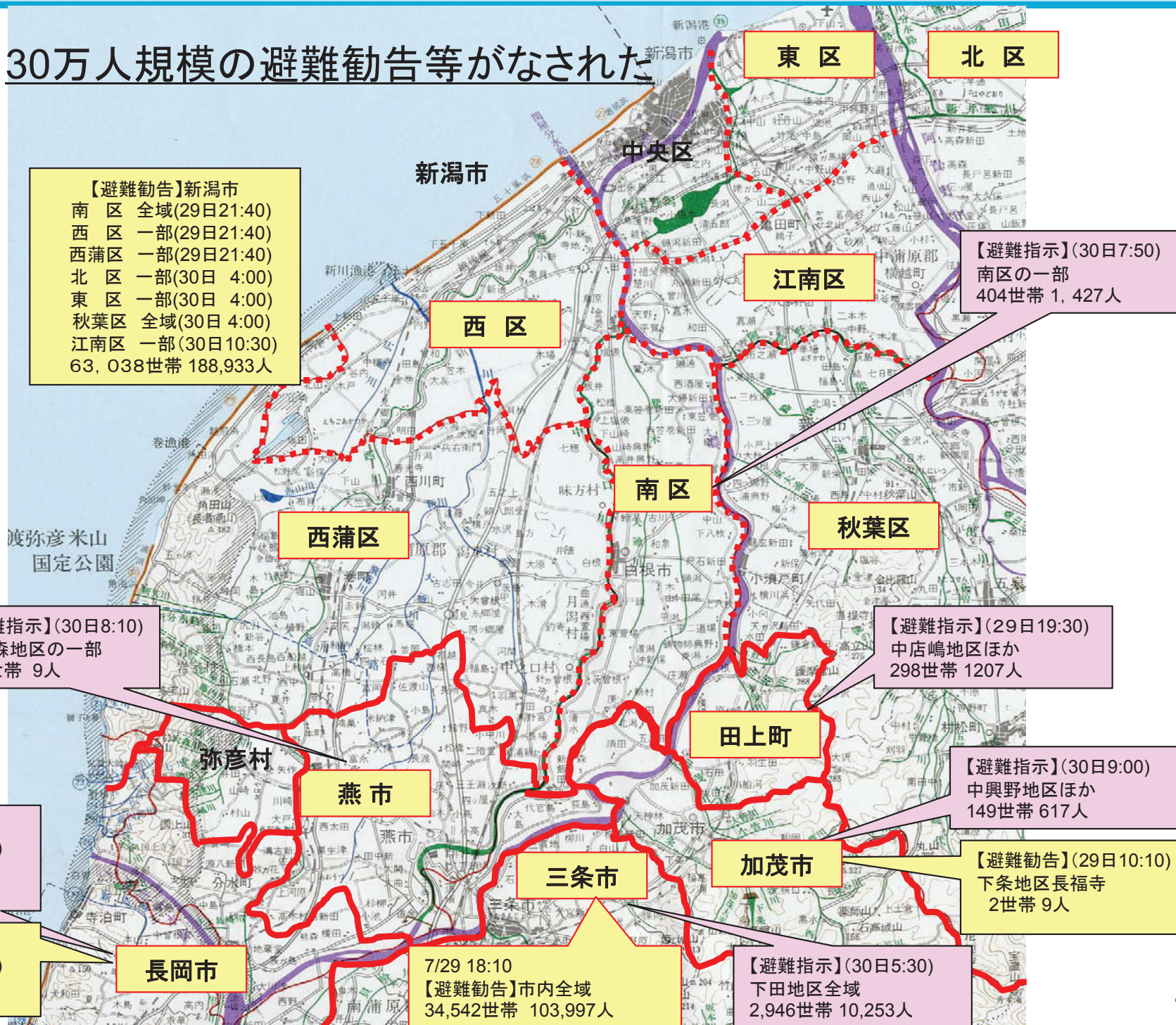


# 市町における避難情報の発表状況

凡 例

- 避難勧告
- 避難指示

30万人規模の避難勧告等がなされた



# 6. 今後の対策：H23.7豪雨水害を踏まえた五十嵐川等の復旧方針

【新潟県】

特に被害が甚大であった五十嵐川、鹿熊川、塩谷川の復旧方針について、中間とりまとめとして示された。(H23.10.6)  
「H23年7月新潟・福島豪雨対策検討委員会(新潟県)」

## 【五十嵐川】

- ・H23.7.29豪雨の1山目ピーク実績流量をHWL以下で安全に流下させることを目標とする。
  - ・改修済みの五十嵐川下流市街地部との上下流バランスを考慮した河道改修と流域貯留を組み合わせた対策とする。
- ①河道は、河道掘削、引堤及び堤防嵩上げにより流下能力を向上させる。
  - ②流域貯留は、上流既設ダムの洪水調節機能増強並びに遊水地などの設置を検討する。

\* 赤字は五十嵐川の対策

上流既設ダム機能増強

笠堀ダム

大谷ダム

河川改修

遊水地設置

刈谷田川ダム

鹿熊川

決壊

五十嵐川

塩谷川

刈谷田川

刈谷田川遊水地

【見附】

● : 水位観測地点

## 【鹿熊川(五十嵐川支川)】

- ・H23.7豪雨で浸水した下流部の集落を守ることを最優先に、沿川の土地利用や谷底平野部の地形を踏まえ、鹿熊川の上下流バランスなどを考慮した河道改修とする。

## 【塩谷川(刈谷田川支川)】

- ・H23.7豪雨で浸水した上流部の集落を守ることを最優先に、沿川の土地利用や谷底平野部の地形を踏まえ、塩谷川の上下流バランスなどを考慮した河道改修とする。

